

Sulfamethoxazole-Trimethoprim 合剤の 産婦人科領域における臨床的検討

高瀬善次郎

川崎医科大学産婦人科学教室

Sulfamethoxazole (SMX) と trimethoprim (TMP) を 5:1 の割合で混合した合剤(ST合剤)を産婦人科領域の感染症に使用し、いささかの知見を得たので報告する。

なお、ラットに 200 mg/kg/day 以上の大量を使用すると、葉酸拮抗剤に特有の奇形を認めたとの報告もあるので、妊婦への使用は行なわなかつた。

1. 投与方法

1錠中に SMX 400 mg と TMP 80 mg を含有する本剤を、1日4錠、分2投与で全例に行なつた。

2. 効果判定基準

菌検出不能な疾患、たとえば子宮付属器炎などでは、臨床所見の改善、白血球数、赤沈値などの正常化のみられたものを有効(+), その他を無効(-)とした。

また、菌の検出可能な症例では、上記のものほかに、菌の陰性化のみられたものを有効とし、菌が消失しないものを無効とした。

ただし、子宮頸癌手術後の腎盂腎炎の場合は、感受性抗生物質の大量投与を行なつても、菌の陰性化がみられないので、菌数の減少をもつて有効とした。

3. 臨床成績

産婦人科領域の感染症に使用した症例は23例であり、子宮付属器炎8例、子宮内感染3例、産褥熱1例、卵管溜膿腫1例、乳腺炎2例、急性膀胱炎6例、腎盂腎炎2例であつた(表1)。

i) 子宮付属器炎、卵管溜膿腫

子宮付属器炎8例中5例有効、3例無効であつた。無効3例は、他の抗生物質と消炎酵素剤の併用により治癒した。

卵管溜膿腫は1例にすぎないが、無効であり、他の抗生物質と手術を併用して治癒した。

ii) 子宮内感染、産褥熱

子宮内感染は3例あり、すべて他院において避妊リングを挿入したものである。本剤を投与すると同時に、リングの抜去を行なつた。菌の検出は抜去したリングから培養したものであり、3例中2例が有効であつた。

産褥熱の1例は *Escherichia coli* によるものであるが、10日間の本剤の使用で全治した。

iii) 急性膀胱炎

急性膀胱炎6例に使用し、6例中5例に有効であつた。起炎菌はすべて *Escherichia coli* である。

iv) 腎盂腎炎

産褥腎盂腎炎1例、子宮頸癌術後の腎盂腎炎1例に使用し、ともに有効であつた。ただし、前にも述べたように、子宮頸癌術後の腎盂腎炎では、ST合剤使用前には菌数 175000 であつたが、臨床症状の改善とともに菌数は 12000 となつたので有効とした。

v) 乳腺炎

乳腺炎の2例に使用し、2例ともに有効であつたが、まだ膿瘍を形成していないので、菌の検出は不能であつた。

以上23例中17例に有効であり、少数例ではあるが、その有効率は73.9%である。

4. 検出菌の ST 合剤の感受性

検出した *Escherichia coli* について、SMX, TMP それぞれ単独の MIC および、ST合剤の MIC ならびに、20:1 の比率に混合した場合の MIC を検した成績は同じく表1のようである。

すなわち、合剤の MIC は、明らかに SMX 単独のそれよりもすぐれており、特に 20:1 の比率で混合した場合の MIC は、SMX, TMP 単独の場合より、さらにすぐれていた。

5. 副作用

23例中3例に悪心、2例に食欲不振がみられたが、薬剤の投与は継続し得た程度である。なお、アレルギー体質のものには、本剤の投与は初めから行なつていない。

6. まとめ

1. ST 合剤を産婦人科領域の感染症、すなわち、子宮付属器炎、卵管溜膿腫、子宮内感染、産褥熱、急性膀胱炎、腎盂腎炎および乳腺炎など23例に使用し、その有効率は73.9%であつた。

2. 病巣より検出した *Escherichia coli* については SMX, TMP 単独、ST 合剤および 20:1 の比率で混合した場合の、それぞれの MIC を測定し、SMX, TMP には明らかに協力作用のあることを認めた。

表1 臨床成績 (ST合剤)

No.	年令	疾患名	検出菌	菌数	MIC (mcg/ml)			投与日数	効果	副作用
					SMX	TMP	ST (20:1) ()はTMP			
1	23	子宮付属器炎	検出不能					7	+	-
2	30	"	"					10	+	-
3	35	"	"					10	+	悪心
4	38	"	"					7	-	-
5	28	"	"					7	-	悪心
6	21	"	"					7	-	-
7	29	"	"					9	+	-
8	28	"	"					9	+	-
9	38	卵管溜膿腫	<i>E. coli</i>		>200	0.1	1.56 (0.07)	5	-	悪心
10	30	子宮内感染	<i>E. coli</i>		3.13	0.1	0.39 (0.02)	10	+	食欲不振
11	37	"	<i>E. coli</i>		>200	0.2	3.13 (0.15)	5	-	-
12	29	"	<i>Proteus</i>					7	+	-
13	28	産褥熱	<i>E. coli</i>		>200	0.2	1.56 (0.07)	10	+	食欲不振
14	42	急性膀胱炎	<i>E. coli</i>	12000→10000	>200	0.39	6.25 (0.30)	7	-	-
15	29	"	<i>E. coli</i>	7000→0	>200	0.1	1.56 (0.07)	5	+	-
16	35	"	<i>E. coli</i>	13200→0	25	0.39	0.78 (0.04)	7	+	-
17	20	"	<i>E. coli</i>	6800→0	>200	0.2	1.56 (0.07)	7	+	-
18	22	"	<i>E. coli</i>	21100→0	12.5	0.39	0.78 (0.04)	5	+	-
19	27	"	G(-), Bac	8200→0				5	+	-
20	32	腎盂腎炎	<i>E. coli</i>	123800→0	6.25	0.2	0.78 (0.04)	14	+	-
21	59	子宮癌後腎盂腎炎	<i>Proteus</i>	175000→0				12	+	-
22	27	乳腺炎	検出不能					10	+	-
23	27	"	"					9	+	-

CLINICAL EVALUATIONS OF THE COMBINATION OF SULFAMETHOXAZOLE-TRIMETHOPRIM IN OBSTETRICS AND GYNECOLOGY

ZENJIRO TAKASE

Department of Obstetrics and Gynecology, Kawasaki Medical College

Sulfamethoxazole (SMX)-trimethoprim (TMP) combination product was administered in 23 patients with infections consisting of salpingitis, pyosalpinx, metritis, puerperal fever, pyelonephritis and mastitis. The dosage of the combination product was 4 tablets daily divided in 2 doses given for 5 to 14 days. The overall effective rate of 73.9% was achieved. The antibacterial activities of SMX and TMP, alone and in 20:1 combination, were assessed on *Escherichia coli* strains isolated clinically. The potentiation of activities was clearly demonstrated by the combination of the 2 compounds.